

授業科目名	看護理論 <i>Nursing Theory</i>			担当教員	本田 多美枝
開講年次	1 年前期	セメスター	1	時間数(単位数)	30 (2)
必修選択	選択 (保健・看護コース 必修)	授業形態	講義	使用教室	
授業の目的	卓越した看護実践の基盤となる諸理論について理解を深めるために、理論開発進展の経緯、看護理論の定義や意義、看護理論を評価する視点を学ぶ。また、高度な看護実践を先導していくために有用となる看護理論について理解し、実践事例への理論適用と検討を通して、看護実践の質向上につなげていくための能力を修得する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護理論とは何か、看護理論を評価する視点を説明できる</li> <li>2. 看護理論開発の進展経緯を社会背景との関連において理解し、高度な看護実践を先導していく看護職者として、看護理論を学ぶ意義を説明できる</li> <li>3. 各専門分野の看護実践を行っていくうえで有用となる看護理論を理解し、実践事例への理論適用と討論を通して、看護実践の質向上につなげていくための能力を修得する</li> </ol>				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 回 看護理論の定義・構成要素・意義 理論の分類（大理論・中範囲理論・小理論）と実践への活用 看護領域における理論開発進展の経緯</li> <li>2 回 理論の評価モデル</li> <li>3 回 理論の理解①：セルフケア理論</li> <li>4 回 理論の理解②：Interaction model</li> <li>5 回 理論の理解③：適応モデル</li> <li>6 回 理論の理解④：障害受容、悲嘆の理論</li> <li>7 回 理論の理解⑤：ケアリング</li> <li>8 回 理論の理解⑥：拡張する意識としての健康</li> <li>9 回 理論の理解⑦：不確実性の理論</li> <li>10 回 実践事例への理論適用①：看護実践の振り返りと看護理論を活用しての分析・討論</li> <li>11 回 実践事例への理論適用②：看護実践の振り返りと看護理論を活用しての分析・討論</li> <li>12 回 実践事例への理論適用③：看護実践の振り返りと看護理論を活用しての分析・討論</li> <li>13 回 実践事例への理論適用④：看護実践の振り返りと看護理論を活用しての分析・討論</li> <li>14 回 実践事例への理論適用⑤：看護実践の振り返りと看護理論を活用しての分析・討論</li> <li>15 回 看護科学の発展・看護実践の質向上と看護理論、まとめ</li> </ol>				
学習方法	授業は、教員による講義および院生によるプレゼンテーションと討論にて進める。プレゼンテーション担当の院生は、前週までに教員および院生に必読文献を提示すること、各院生は事前学習を行い、授業に参加すること。10-14 回では、各自のこれまでの看護実践を振り返り、看護理論を活用して現象を分析し、考察した内容の発表・討議を行う。				
オフィスアワー	金曜日の昼休み、もしくはメールにてアポイントをとってください。 t-honda@jrckicn.ac.jp (本田)				
テキスト	筒井真優美編：看護理論家の業績と理論評価. 東京, 医学書院, 2015.				
参考文献	<p>Smith,M.J., &amp; Liehr,P.R. : <i>Middle Range Theory for Nursing (3<sup>rd</sup>Ed.)</i> .New York, Springer Publishing Co, 2013.</p> <p>Meleis,A.I. : <i>Theoretical Nursing (5<sup>th</sup>Ed.)</i> . Philadelphia, Lippincott Williams &amp; Wilkins, 2012.</p> <p>Walker,L.O., &amp; Avant,K.C. : <i>Strategies for Theory Construction in Nursing (4<sup>th</sup>Ed.)</i> . New Jersey, Appleton-Century-Crofts,2005, 中木高夫・川崎修一訳：看護における理論構築の方法. 東京, 医学書院, 2008.</p> <p>その他、適宜紹介します</p>				
評価方法	授業への参加度・プレゼンテーション (50%) レポート (50%)				